

「杉並区区民等の意見提出手続」の結果報告書

- 1 政策等の題名 高円寺地域における新しい学校づくり計画
- 2 案の公表日 平成25年9月21日
- 3 意見提出期間 平成25年9月21日 ~ 平成25年10月21日 (31日間)
- 4 意見提出実績

総数 71件 (個人71件、団体0件)、延べ121項目

【提出方法内訳】

・文章	28件
・FAX	19件
・メール	19件
・電子掲示板	7件

注)件数:提出件数(但し、同一主体から複数回に分けて寄せられた意見については1件とする。)

(同一主体から異なる方法で意見提出があり、総数と内訳の合計数は異なる。)

- 5 お寄せいただいたご意見の概要と教育委員会の考え方
別紙1のとおり
- 6 計画案からの修正箇所
別紙2のとおり
- 7 問合せ先 教育委員会事務局学校支援課
電話:03 - 3312 - 2111 (代表)

お寄せいただいたご意見と、ご意見を考慮した結果(教育委員会の考え方)や理由等について、下記のとおりまとめました。

意見概要と教育委員会の考え方

NO	該当ページ	意見の概要	教育委員会の考え方	反映有無
----	-------	-------	-----------	------

計画全体について (全61項目)

1	-	計画のメリットが理解できず、財政負担軽減を目的としているように思われるため、学校の統合は賛成できない。 【他、同趣旨意見 24件】	児童・生徒にとってよりよい教育環境を提供することを目的としており、小規模校の良さも認識していますが、ある程度の規模があることで子どもの交友関係が広がり多様なものの見方や考え方に触れる機会が多く得られるとともに、学校行事等の教育活動の活性化が図られると考え、計画を策定します。 また、教育内容によって有効な学級規模を編成するなど、多様な指導形態を採ることで丁寧な教育活動に努めます。	無
2	-	規模が大きくなることで先生の目が行き届かなくなるなどの不安があり、教育は少人数で丁寧に行ってほしい。 【他、同趣旨意見 3件】	平成21年度から25年度に渡り、学校関係者や地域関係者との意見交換等を延べ116回2,000人を対象に実施し、いただいた様々な意見を総合的に勘案した上で、計画を策定しました。 今後も高円寺地域の特性を生かした学校の開校に向け、様々な課題について協議・検討していく際には、分かりやすい周知に努めます。	無
3	-	学校関係者や地域との意見交換や説明会が十分に行われたか疑問である。 【他、同趣旨意見 5件】	学校希望制度が廃止されることで、杉並第八小学校の学級数が変化する可能性はありますが、高円寺地域の学齢人口が少ない現状があります。 現状と今後の人口推計を踏まえ、高円寺地域に新しい学校づくりの必要があると考え、より活力ある多様な教育活動が可能となる規模を確保した魅力ある学校を目指します。	無
4	-	以前、高円寺地域の中学校2校と小学校4校において複数の案が提示されたが、この計画のみになったことが不明確である。 【他、同趣旨意見 1件】	計画対象3校のこれまでの魅力ある教育を継承し、また、他校の取組みも参考に、高円寺地域ならではの魅力ある学校づくりを目指し、多くの児童・生徒が通う学校になるよう地域とともに取り組みます。	無
5	-	杉並第八小学校が小規模になった理由は学校希望制度によるものであり、制度が廃止されることにより、適正配置検討対象校ではなくなる。 【他、同趣旨意見 19件】		無
6	-	現在も交流が盛んで、距離も近い、杉並第四小学校と高円寺中学校のみで計画することを要望する。		無
7	-	現在の高円寺中学校は各学年2クラスで適正規模を満たしていない。このクラス数では、人間関係が固まり、問題が生じた時の修復が難しくなり、新しい学校が小規模にならないか不安である。 【他、同趣旨意見 2件】		無

1 高円寺地域における義務教育9年間を通した一貫性のある教育校 (全2項目)

8	2	「目指す学校像」は、納得ができ、それが実現されることで魅力ある学校となることを期待する。 【他、同趣旨意見 1件】	地域のご期待に応えられるよう、高円寺地域の特性を生かした魅力ある学校づくりに努めます。	無
---	---	--	---	---

意見概要と教育委員会の考え方

NO	該当ページ	意見の概要	教育委員会の考え方	反映有無
----	-------	-------	-----------	------

2(1) 杉並区の小中一貫教育 (全6項目)

9	3	学習指導要領による小中の教育内容の弱点を補いあえる小中一貫教育は意味がある。	平成22年度から区内すべての小中学校において小中一貫教育を推進しており、小中学校の教員間の交流が進み、相互理解が深まり、学習内容や生活指導が充実しています。また、小学生の中学校生活に対する不安感が減り、期待感が高まるなどの成果がみられるため、さらに連携を深め、小学校から中学校への円滑な接続を図り、小学校で学んだことを中学校でさらに発展させる教育を展開します。	無
10	3	小中一貫教育のメリットが理解できない。小学校のきめ細かさや中学校の専門性を相互に生かせるとは思えない。 【他、同趣旨意見 1件】		無
11	3	東京都では中高一貫教育化が進んでいるにもかかわらず、小中一貫教育を推進することに疑問を感じる。 【他、同趣旨意見 2件】	都立中高一貫教育校は、現在10校ありますが、区が推進する小中一貫教育とは目的が異なります。都は社会の様々な場面、分野において人々の信頼を得てリーダーとなり得る人材を育成すること等を目的としています。一方、区は全ての区立小・中学校において小中一貫教育を推進し、義務教育修了までに、すべての子どもたちが自立して社会で生き、豊かな人生を送るための人生の基盤を築くことを目的としています。	無

2(2) 施設一体型の特色 (全21項目)

12	3	施設一体型には、他自治体での先行事例を見ても疑問があり、小学校・中学校それぞれ各年齢にふさわしい空間と時間を望みます。 【他、同意見趣旨 14件】	杉並区では、施設一体型においても、6-3制の学校教育制度に基づき、小中学校の校種の違いによる教育的意義を大切にしつつ、子どもたち一人ひとりの発達段階に応じた指導を行います。	無
13	3	小学校6年生の最上級生という立場・意識は子どもの発達上、必要である。	小学校の活動として必要で大切なものは小学校で行うなど、小学校6年生の最高学年としての立場は維持します。	無
14	3	中学校への進学は、壁を乗り越え飛躍する機会であり、新たに仕切り直す機会でもあるため、大切である。 【他、同趣旨意見 1件】	また、義務教育9年間を通した一貫性のある教育により、個々に応じた成長を促すような機会は設けられるため、意図的・計画的に設定するよう努めます。	無
15	3	小学校1年生と中学生が同じ校庭・体育館・トイレを利用するなど、生活面や安全面に不安があるため、丁寧に対策してほしい。 【他、同趣旨意見 2件】	小中学校・学年区分に対応した教室の配置などの施設の配慮を計画案では掲げていますが、ご指摘の趣旨を踏まえ、計画に一部追記します。	有

意見概要と教育委員会の考え方

NO	該当ページ	意見の概要	教育委員会の考え方	反映有無
----	-------	-------	-----------	------

3(1) 新しい学校の位置 (全14項目)

16	4	環状七号線に近接しており、騒音・大気等の面で不安がある。 【他、同趣旨意見 4件】	現高円寺中学校では、期間を定めて環境測定を毎年行っており、国で定める環境基準を大きく下回っているところですが、校舎改築にあたっては、交通騒音等、学校生活に支障をきたさないような配慮を行います。	無
17	4	現在の杉並第八小学校の地域からは通学距離が低学年にとっては遠い。 【他、同趣旨意見 5件】	杉並区の通学区域は、小学校を概ね半径1km、中学校を概ね半径1.5kmとしており、現杉並第八小学校通学区域は、現高円寺中学校の校地を起点とすると、ほぼ納まります。 また、計画の3(8)「通学の安全対策」に掲げるとおり、通学の安全対策は十分に講じます。	無
18	4	現高円寺中だけでは狭い。小学生の放課後と中学生の部活動の共存なども難しく感じる。 【他、同趣旨意見 2件】	都市計画法上、他校と比較し、ある程度規模が大きい施設が建設でき、多様な教育活動を実施することができます。 また、時間やエリアのゾーン分けなど学校運営の面で検討を行い、杉並第四小学校の校地・校舎も活用し、部活動の幅を広げることも検討します。	無

3(4) 施設整備 (全2項目)

19	4	プールの水深を小学校と中学校で変えるなど、体格等の成長が著しい時期である為、施設的な配慮が必要である。 【他、同趣旨意見 1件】	小中学校・学年区分に対応した教室の配置など、発達段階に応じた指導を行うための施設的配慮を十分に行います。	無
----	---	---	--	---

3(7) 通学区域 (全4項目)

20	5	現在の通学区域では、中学校進学時に一貫校から別の学校に通うことになる子どもがいるなど、小中一貫教育に矛盾を感じる。 【他、同趣旨意見 2件】	小・中学校の教員同士の相互理解によって授業力等の向上が図られ、子どもは確かな学力を身につけるなどの効果が得られます。 小中一貫教育で連携していない中学校に進学しても、杉並区は学習指導要領に沿った6-3制で教育が行われるため、学習内容が異なることはなく、小学校で学んだことを中学校でさらに伸ばします。	無
21	5	現時点での通学区域再編案を提示してもらいたい。	通学区域は計画対象校3校のみではなく、周辺校にも影響があるため、周辺校を含めた保護者や地域の方々の意見等を踏まえ、今後検討します。 また、小中一貫教育に配慮した学校変更の仕組みなどを検討します。	無

意見概要と教育委員会の考え方

NO	該当ページ	意見の概要	教育委員会の考え方	反映有無
----	-------	-------	-----------	------

3(8) 通学の安全対策 (全4項目)

22	5	環状七号線の横断や、交通量が多い脇道での通学など、登下校に不安があるため、安全に通学できるようにしてほしい。 【他、同趣旨意見 3件】	通学路については、警察等の関係機関の協力のもと専門的な意見を伺い、実地踏査も行い、安全に考慮し検討しますが、ご指摘の趣旨を踏まえ、計画に一部追記します。	有
----	---	--	--	---

3(9) 開校前及び開校後の児童・生徒への配慮 (全2項目)

23	6	建設工事期間中の安全対策や粉塵対策は丁寧に行ってもらいたい。 【他、同趣旨意見 1件】	通学の安全対策や開校前の心理面における配慮など計画案では掲げていますが、ご指摘の趣旨を踏まえ、計画に一部追記します。	有
----	---	--	--	---

4 「高円寺地域における新しい学校づくり協議会」の設置 (全1項目)

24	6	協議会には杉並第三小学校の保護者や地域関係者も参加させる必要がある。	協議会は、校長等、保護者、地域関係者、新校に係る関係者及び教育委員会事務局で構成すると掲げていますが、今後具体的に取り組んでいくうえでの参考にさせていただきます。	無
----	---	------------------------------------	---	---

6 学校跡地等の活用 (全1項目)

25	7	杉並第八小学校は住宅地であるが、広い寺社の敷地に囲まれており、防災避難所として適地である。	学校跡地の状況を踏まえ、区民福祉の向上に役立ち、防災機能をもった拠点にするなど災害に強いまちづくりに配慮した効果的な活用できるよう取り組みます。	無
----	---	---	--	---

その他 (全3項目)

26	-	計画素案作成前に高円寺地域における新しい学校づくり計画策定準備会が開催されていたが、その方向性について公表されていない。 【他、同趣旨意見 2件】	ご指摘のあった会議も含め、平成21年から地域において新しい学校づくりに対する様々な意見交換会が行われました。それらを総合的に勘案し、計画を策定します。	無
----	---	--	---	---

「高円寺地域における新しい学校づくり計画」(案)からの修正箇所

NO	修正箇所	パプコメ案	修正案	修正理由
1	4ページ 3(4)の 説明文	(前略)高円寺地域にふさわしい学校を 目指します。	(前略)高円寺地域にふさわしい学校を 目指します。 また、学校運営上でも、 <u>安全面・心理 面を考慮した施設利用のルールをつくる</u> 等、十分な配慮を行います。	パブリックコ メント意見を 踏まえ、文 言の追記
2	5ページ 3(8)の 説明文	(前略)協議会においても実地踏査を行 い、十分な安全対策を講じます。	(前略)協議会においても実地踏査を行 い、 <u>検討</u> します。 また、 <u>開校後、当面の間は交通安全対 策指導員の増員を図る等の十分な安全 対策を講じます。</u>	パブリックコ メント意見を 踏まえ、文 言の追記
3	6ページ 3(9)の 説明文	(前略)学校間交流や学校運営について 十分な検討を行います。 また、開校までの6年間は、(後略)	(前略)学校間交流や学校運営について 十分な検討を行います。 <u>校舎の改築・改修中の期間において は、十分な安全対策を講じます。</u> また、開校までの6年間は、(後略)	パブリックコ メント意見を 踏まえ、文 言の追記